

1 プログラム名： **もっと知ろう！私たちが出す「ごみ」のこと**

学年	教科	単元	関連教科	時間数
4	社会	住みよいくらしをつくる	総合・道徳	2

2. 学習のねらい

- ① もともとは私たちの暮らしの中で必要だったものが、ごみに変わってしまったことに気付く
- ② ごみの捨て方にはルールや決まりがあることを知りごみの分別を身近な問題として捉える
- ③ 3Rについて知り、暮らしの中で少しでもごみを減らす工夫を考え、自分たちができる生活行動を具体化させる

3 ESDプログラムの目標 (○をつける)

主なESDの視点

持続可能な社会づくりの構成概念について、○がつく理由を記入

持続可能な社会づくりの構成概念		ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度	
相互性		批判的に考える力 (批判)	
多様性		未来像を予測して計画を立てる力 (未来)	○
有限性	○	多面的、総合的に考える力 (多面)	
公平性		コミュニケーションを行う力 (伝達)	○
責任性	○	他者と協力する態度 (協力)	○
連携性		つながりを尊重する態度 (関連)	
その他 ()		進んで参加する態度 (参加)	○
		その他 ()	

構成概念	○がつく理由
有限性	地球の資源には限りがあり、ごみの再生、再利用の取り組みが資源の有効活用になることを知る。
責任性	一人一人がごみを出さない生活を心がけ3Rを実践することが大切であることに気付く。

5 学習指導要領との関連 (関連させられる可能性のあるものを記入)

学年	教科/領域	学習内容
4年	社会	(3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、見学、調査、資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康や両行な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。
5年及び6年	家庭	D 身近な消費生活と環境 (2) 環境に配慮した生活の工夫 ア. 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること

6 プログラム (単元・題材) の展開の流れ

分	学習課題	学習(活動)内容	指導・支援の方法、ポイント等 [教材・必要物]
5	ごみとはなにか、なぜごみは生まれるのか	最初は暮らしの中で必要であったものがなぜごみになったか考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段どのようなごみが捨てられているのか想起させ、それがなぜごみになってしまったのか考えさせる。 ・ 一方的な講義ではなく児童と対話しながら参加型で進める。
10	住んでいる町のごみの現状	出されるごみの量、ごみの種類、処理にかかる費用を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人が一日に出すごみの量を、重さで体感させる。全国平均、県、住んでいる町の3つの袋を用意し、実際に持ち上げて比較し、クイズ形式で予想させる。自分の町のごみの量を他と比較することで、ごみ減量に対する動機付けになる。 ・ 家庭から出るごみの大部分が可燃ごみであり、90%が水分なので水切りが大切である。
30	ごみの捨て方にはルールや決まりがある。	町で決められた分別のルールに基づいて、ごみの分別を体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つのグループに分かれ、グループで話し合いながら作業を行う。 ・ 家庭や学校で出すごみをポストイットに書き出し、同じ種類のものは整理する。 ・ 黒板に書いた町の分別ルールの表にポストイットを貼る。分別したごみについて、例えば可燃ごみに分類された新聞紙やプリント類は汚れていない限り資源になる・・・など解説をしながら訂正していく。 ・ ごみの分別を身近な問題として捉えられるようにする。

20	3Rって何？	「3R」について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの再生・再利用が資源の有効利用となっていることに気づかせる。身近な例や実際のもの（ペットボトル→衣類など）を提示する。 ・買う前の行動/リデュース 買ってからの行動/繰り返し使う・・・リユース 買ってからの行動/資源とする・・・リサイクル 中でもごみを出さないリデュースを実践することが大切
20	ごみを減らすために私たちができることを考える	自分たちが、ごみを減らすために暮らしの中で実践できることを具体化する	<ul style="list-style-type: none"> ・Reduce, Reuse, Recycle のそれぞれにおいて、具体的にどのような行動ができるか、対話しながら導き出す。
5	まとめ	授業の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の資源には限りがあるので3Rが大切であること、一人ひとりがごみを出さない生活を実践することが必要であることを確認する。 ・振り返りアンケートに記入

7. 児童用アンケート結果（当会が用意したもの：別紙のとおり）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分たちが出すごみの量がわかった（5.0ポイント中4.7ポイント） 2. 東員町のごみの出し方がわかった（5.0ポイント中4.5ポイント） 3. 3Rのことがわかった（5.0ポイント中4.6ポイント） 4. ごみはできるだけ出さない方がよい（5.0ポイント中4.8ポイント） 5. ごみを出さないために自分が心がけること（自由記述） <ul style="list-style-type: none"> 無駄なものは買わない、買ったものは最後まで使う、残さず食べる、よくばらない、リサイクルする、買う前に本当に使うかどうかよく考える、自分は使わなくなったがまだ使えるものは誰かにあげる、買い物にはマイバッグを持っていく お父さんお母さんにごみのことについて話す、生ごみはよく水切りをする

8. 担当教員の感想から

--